

岩手県の花き市場を 発は困難との回答を受け、継いだ2代目。現場に立代表する(株)盛岡生花地 方卸売市場(盛岡市羽 橋本正博代表取締役 社長)は、現在地で システムを発売し、今年 の開業から15年ほどを 経過し、老朽化部分を 改修工事するなど、次

ウド活用で卸売市場にお

けるさまざまな業務を網

羅。受注業務(引当)か

り、辞めることなく続け

2023年をとらえ、

らネット販売に対応する

ていことも大きい。最

さまさまなことに取り

など、先進的で効率的な

後は人である。現在20代

組んできている。

卸売市場運営を実現でき

が3人、30代が2人と次

代を担う世代が育ってい

くことにも期待してい

る」と語る。

昨年、インボイス対

るシステム。 橋本社長は先代である

父、橋本正会長の仕事を

継いだところ、花き市

場のためのシステム開

見、共に仕事をし、後を

## 岩手県 盛岡生花市場

# 花店の趣向とらえ

## 新システム導入で効率化実現

る。花屋の趣向がわか

っているし、そういう

花を見ると届けたくな

る。社員から『一番の

お客様は誰か』との思

いがけない声も上がっ

てきており、社員が育

ってきたことが頼もし

く嬉しかった。

2024年の運送問

題で、今後の市場経営

も変化していくことが

懸念される。セリがな

くなり、品物を見せて

買ってもらったら問屋

自分分は花屋からの注文

があれば、それを探す

ねちっこい営業が身に

付いているが、働き方

改革もあり若い人はそ

うではなくなってきた

いる。お客様の趣向を

知って商品を提案でき

るような機能が出る



新システム導入の盛岡生花市場

描く。

「現在、セリ前で欲

して買っていくお客様が